全自動タイプ

ガスふろ給湯器

取扱説明書 保証書付

品　名	機器コード	型式名	号数
TP-T824RFW-RA	11-033-25-08170	GX-SD2400ZW	24号
TP-T824RFT-RA	11-033-25-08171	GX-SD2400ZT	24号

品　名	機器コード	型式名	号数
TP-T816RFW-RA	11-033-25-08168	GX-SD1600ZW	16号
TP-T816RFT-RA	11-033-25-08169	GX-SD1600ZT	16号

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

TOKYO GAS

操作ダイジェスト

お湯を使う（→P.13）

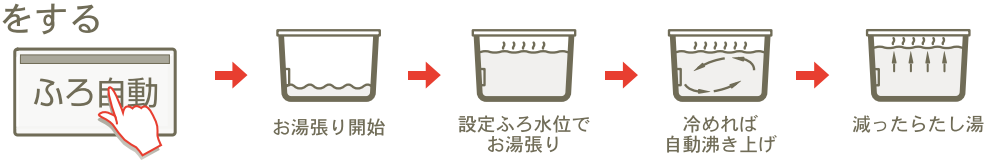
おふろのシャワーや台所・洗面所のお湯の温度をお好みに調節して使用できます。

ご使用の目安　（単位:℃）

32 35	37 38	39	40	41 42 43	44 45 46 48	50 55 60
低温 食器洗いなど		シャワー・給湯など			給湯など	高 温

40:工場出荷時

自動でおふろを沸かす（→P.15）
沸かし直しをする



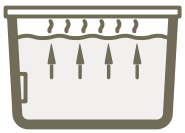
おふろのお湯を熱くする（→P.20）

おふろのお湯を循環させて、熱くします。

おふろのお湯をぬるくする（→P.21）

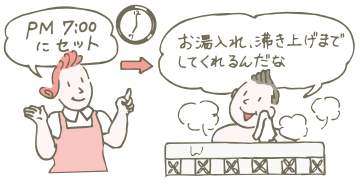
おふろのお湯が熱いときぬるくすることができます。

おふろのお湯をたす（→P.22）



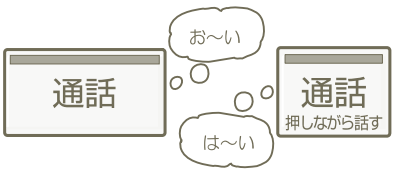
おふろのお湯をたすことができます。

おふろが沸く時刻を予約する（→P.23）



インターホンで通話をする（→P.26）
（インターホンリモコン）

浴室から台所や他の部屋にいる人を呼んで、通話をすることができます。



おふろから台所を呼ぶ
（音声ガイド付リモコン）

浴室から台所や他の部屋にいる人を、呼び出すことができます。

省電力機能付（→P.25）

リモコン待機時の電力低減のための省電力機能

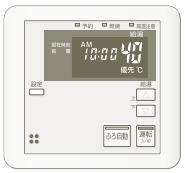
※出荷時は省電力モードは「入」になっています

配管クリーン機能付（→P.27）

ふろ配管内の残り湯をきれいなお湯（水）約6リットルを流して、浴槽の循環口から排出します。

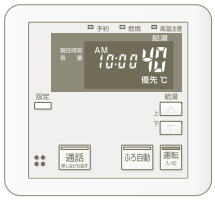
この取扱説明書は音声ガイド付リモコンとインターホンリモコンについて説明しています。
※文中のリモコンのイラストはインターホンリモコンを記載しています。

リモコン〔別売品〕

	音声ガイド付リモコン	インターホンリモコン
浴室リモコン	TP-RB806A	TP-RB806A-P
台所リモコン	TP-RK806A	TP-RK806A-P
増設リモコン	SC-660 	SC-661

エネルックリモコンを使用する場合は、リモコン付属の取扱説明書もご覧ください。

エネルックリモコン〔別売品〕

浴室リモコン	TP-RB806A-PE
台所リモコン	TP-RK806A-PE
増設リモコン	SC-661 

もくじ

	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
必ずお守りください	3
各部の名称とはたらき	8
ご利用前の準備	11
機器の準備	11
現在時刻を合わせる	12
お湯を使うには	13
お湯を使用する	13
優先切替について	14
自動でおふろを沸かすには	15
沸かし直しをするには	16
ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには	17
ふろ温度の設定	17
保温時間の設定	17
ふろ水位の設定	18
音量を変更するには	19
音量の設定	19
おふろのお湯を熱くするには	20
追いだき運転を行う	20
おふろのお湯をぬるくするには	21
ぬるく運転をする	21
おふろのお湯を増やしたいときには	22
たし湯運転をする	22
おふろが沸く時刻を予約するには	23
予約運転を開始する	23
省電力機能について	25
省電力モードの解除	25
省電力モードの設定	25
インターホン機能で通話するには	26
浴室リモコンから台所(増設)リモコンへ呼び出し	26
台所(増設)リモコンから浴室リモコンへ呼び出し	26
知っていると便利な機能	27
自動配管クリーンをする	27
手動配管クリーンをする	27
機能の設定を変更する	28
自動配管クリーンをしない	28
ふろ待機設定をする	29
冬期の凍結予防をするには	30
凍結予防装置による方法	30
給湯栓の水を流す方法	30
機器の水を抜く方法	31
再使用するとき	32
凍結してしまったとき	33
点検のポイント・お手入れのしかた	34
点検のポイント(月1回程度)	34
お手入れのしかた(月1回程度)	34
定期点検のおすすめ(有料)	34
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	35
給水口フィルターの掃除	35
点検・お手入れ後の確認	35
故障かな？と思ったら	36
こんな時は故障ではありません	37
アラーム表示について	38
アフターサービスについて	39
仕様一覧	40
Remote controller	41
保証書	裏表紙

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

■潜熱回収型(高効率)のガスふろ給湯器です

従来捨てていた一次熱交換器の約200℃の排気ガスを二次熱交換器で回収、水を予備加熱します。
熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え、環境面でもCO2削減に貢献します。

ドレン水が出ます

二次熱交換器で排気ガス中の水蒸気の熱を回収し、凝縮(水蒸気が水に戻る)して凝縮水(ドレン水)が生成されます。このドレン水は排気ガス中のNOx,SOxが溶け込むため酸性水になりますが、機器内の中和器で中和して排出します。

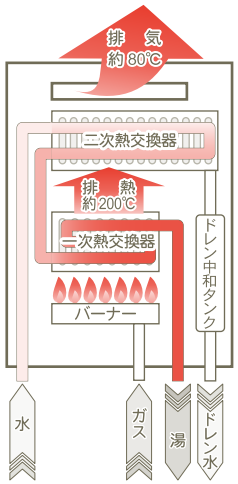
ドレン水は浴室内へ排水されます

この機器のドレン水は追いだき配管(ふろ配管)とD三方弁ユニット(→P.8)を利用して1日1回(リモコンの時刻表示でPM2:00)程度、浴室排水口に排出します。ドレン水の排出後、約3リットルの水を流して配管の洗浄をします。(1～2分程度)
このため、**ドレン水の排出時には排出音がします**が、異常ではありません。
※ドレン水の排水後に行われる配管洗浄は、通常水で洗浄されますがお湯で行われる場合もあります。
この場合、リモコンの燃焼ランプが1～2分程度点灯します。

白い湯気が出やすくなります

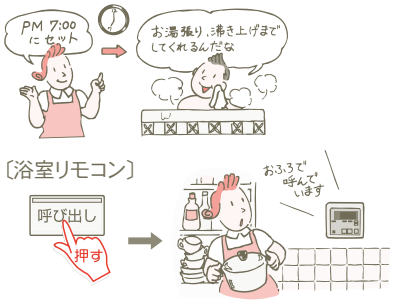
二次熱交換器で回収された排気ガスは熱を奪われ、温度が低く水分を多く含んでいます。
この排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

[高効率の仕組み]



便利です!

- おふろもシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でおふろが沸かせます。(→P.15)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方もお好きなときにバスタイム。(→P.23)
- 浴室から台所や他の部屋にいる人を、呼び出すことができます。



快適です!

- おふろのお湯の温度を自動的に保温します。
また、水位が下がったら、たし湯します。いつも快適なおふろです。(→P.15)

- ふろ配管をきれいにします。
おふろのお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流しだす機能があります。
以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転が「切」の場合は水)約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。

条件
1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
2. 排水中に給湯等を使用していない場合

※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。

環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。(→P.25)

安全に正しくお使いいただくために

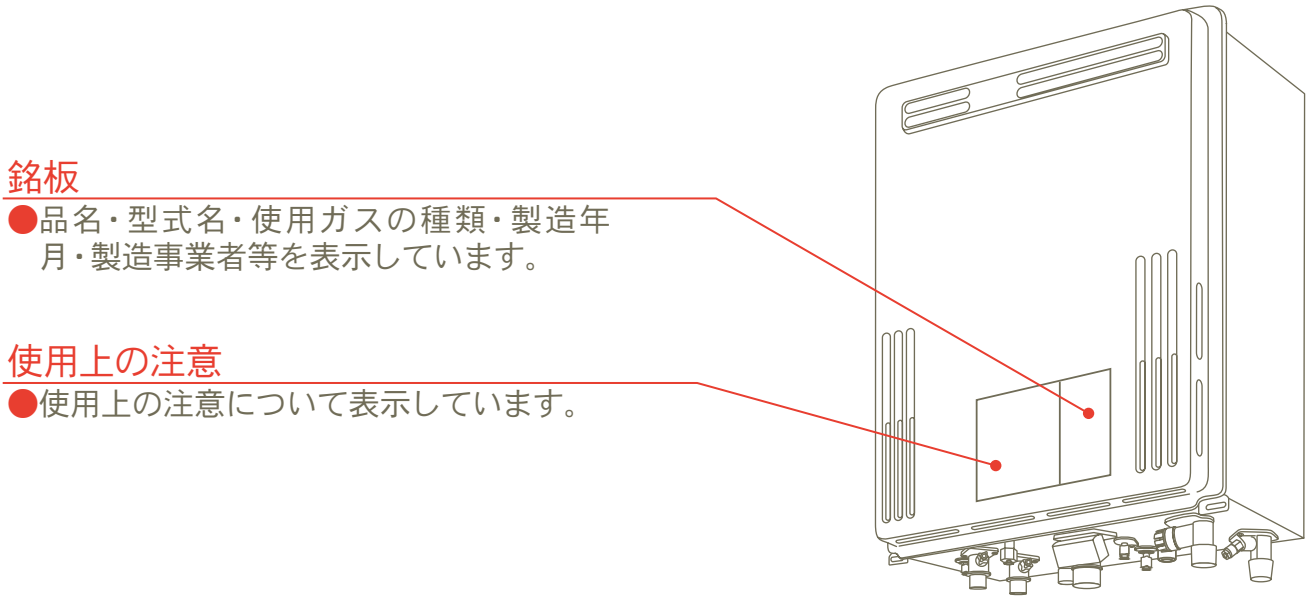
■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P.XX)	参照ページを示しています。
“XXXX”	リモコンから流れる音声を示しています。

■絵表示について

■機器本体の表示について



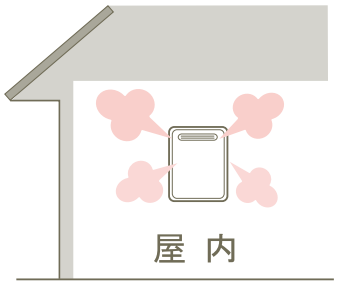
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠危険

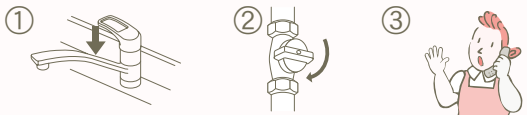
屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

●燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
③お買い上げの販売店、または 最寄りの東京ガスに連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

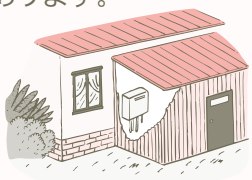
⚠警告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



このような場合は使用しない

●増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

アース必要

●この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

改造・分解禁止

●絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。

ガス接続について

●この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

お子様には十分な注意を

●浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

機器本体の高温部に触れない

●使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。

電源コードの加工禁止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。

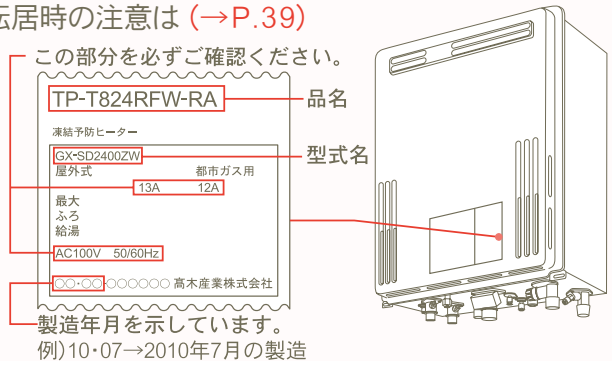
必ずお守りください

⚠警告

機器の銘板を確認

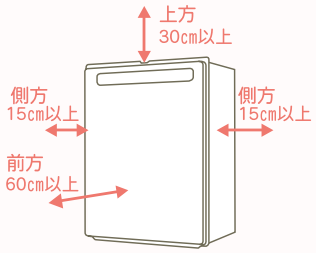
●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は (→P.39)



火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

●機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。

●機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

電源プラグは確実に差し込む

●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。

異常時の処置について

●地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
①給湯栓を閉じる。
②**運転**スイッチを「切」にする。
③ガス栓・給水元栓を閉じる。

●給湯栓を開けても点火しない場合や使用途中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
②「故障かな？と思ったら」(→P.36～38)に従って処置をする。
上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ連絡する。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用するとき
・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき
・機器が故障したとき

●入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。

●給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。

●給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、**運転**スイッチを「切」にしない。

●おふろ沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

許容電力以上の使用禁止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

必ずお守りください

⚠注意

用途についての注意
●一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

空だき防止
●**追いだき**スイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときの注意
●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。

長期間使用しない場合
●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。

ソーラー機器について
●ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

水漏れに気づいたときは
●速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。

オーバーフロー接続口から排出される水について
●オーバーフロー接続口から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。

配管カバーについての注意
●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.35)

お願い

市販の補助用具について
●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
●混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

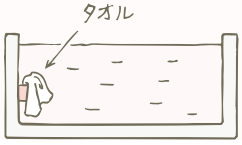
リモコンの扱いについて
●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

通水使用の禁止
●**運転**スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

断水のとき
●給湯栓を閉じ、リモコンの**運転**スイッチを「切」にしてください。
●断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは
●機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

入浴時の注意
●循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



必ずお守りください

お願い

電源プラグを抜かない

●お手入れや水抜き（凍結予防・長期不在時）を行うとき、または突発的な自然災害（雷等）以外は、電源プラグを抜かないでください。

凍結についての注意

●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P.30）に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●凍結したときは「凍結してしまったとき」（→P.33）に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉じてください。
●停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの現在時刻の設定を行い、表示を確認してからご使用ください。
●自動でおふろを沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、「沸かし直しをするには」（→P.16）の操作を行ってください。

ガス事故防止のために

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確認してください。

長期間使用しないときは

●「機器の水を抜く方法」（→P.31）に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

この機器は一般家庭用です

●業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

日常の点検・お手入れ

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P.34）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
●循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上る前に消火することがあります。
●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等でふき取ってください。
●オーバーフロー配管の先からスムーズに水が排水されるか点検してください。ゴミ等によって閉そくされている場合は掃除を行ってください。

D 三方弁ユニットの扱いについて

●浴槽エプロンの内側に設置しているD 三方弁ユニット（→P.8）は防水タイプですが、故意に水をかけないでください。掃除の際には、特に注意してください。

入浴剤や洗剤についての注意

●強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
●ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
●薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

お願い　設置する場所や状況について

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者とご相談ください）

●足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。（機器の点検修理のための空間については、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお問い合わせください）

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

排気ガス

●増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。

●この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

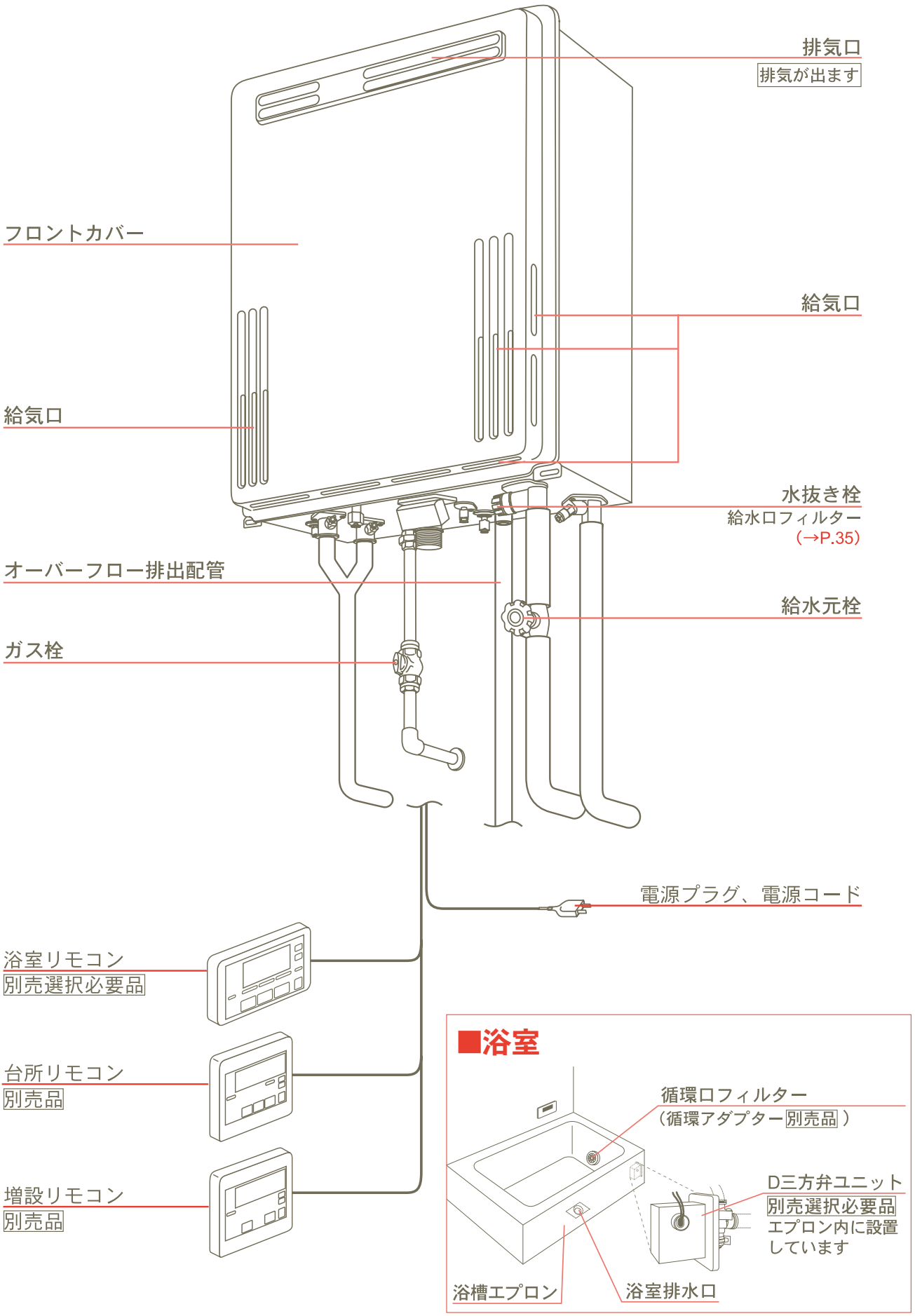
給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

人工炭酸泉装置についての注意

●人工炭酸泉装置使用時は、追いだきを行わないでください。人工炭酸泉装置は高濃度の炭酸ガスを浴槽のお湯に溶かし込むため弱酸性となります。機器内の配管や循環口が変色したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合があります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

各部の名称とはたらき


排気口
排気が出ます
フロントカバー
給気口
給気口
水抜き栓
給水口フィルター
(→P.35)
オーバーフロー排出配管
給水元栓
ガス栓
電源プラグ、電源コード
浴室リモコン
別売選択必要品
台所リモコン
別売品
増設リモコン
別売品
■浴室
循環口フィルター
(循環アダプター別売品)
D三方弁ユニット
別売選択必要品
エプロン内に設置
しています
浴槽エプロン
浴室排水口

各部の名称とはたらき

■浴室リモコン　TP-RB806A/RB806A-P（別売品）

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。別売の台所リモコン・増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作（一部の操作）することもできます。

ぬるくスイッチ（→P.21）
熱いおふろをぬるくするときに押します。

設定ボタン
ふろ温度・保温時間など各種設定をするときに押します。
長押しすると省電力モードの設定・解除が行えます。（→P.25）

予約ランプ[緑]（→P.23）

燃焼ランプ[赤]

高温注意ランプ[赤]（→P.14）

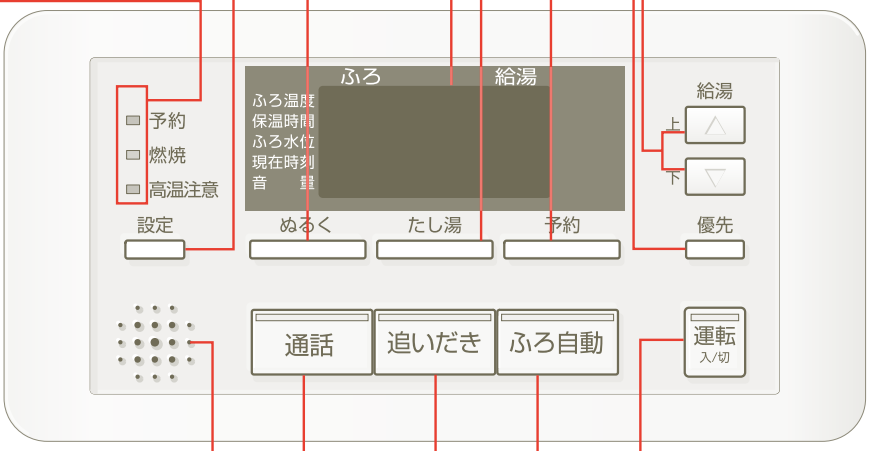
たし湯スイッチ（→P.22）
おふろのお湯を増やしたいときに押します。

予約スイッチ（→P.23）
時間を指定しておふろを沸かします。

優先スイッチ（→P.14）
給湯温度調節の優先を切替えるときに押します。

上下ボタン
給湯温度の調節に使用します。（→P.13）
その他、設定の調節をするときに使用します。

表示画面



スピーカー
設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

通話スイッチ・通話ランプ[緑]（→P.26）
TP-RB806A-Pにあります。インターホンリモコン間で通話をすることができます。

呼び出しスイッチ・呼び出しランプ[緑]
TP-RB806Aは呼び出しスイッチになります。
押すとTP-RK806Aに**“おふろで呼んでいます”**と音声が流れます。

運転スイッチ・運転ランプ[緑]
操作するとき最初に「入」にします。

ふろ自動スイッチ・自動ランプ[橙/緑]（→P.15）
設定した温度・水位で自動的におふろを沸かします。

追いだきスイッチ・追いだきランプ[橙]（→P.20）
おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。

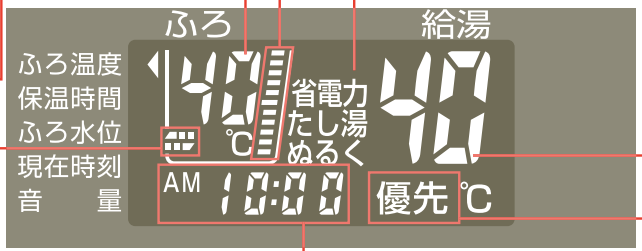
□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ水位表示
おふろの設定水位を水位バーで表示します。

ふろ温度表示
おふろの沸き上げ温度を℃で表示します。

保温時間
ふろ自動運転の設定時には保温時間を表示します。



循環中表示	追いだき運転時に表示します □ ➡ □□ ➡ ▱□□ ➡ 消灯 ➡ □ □ □□ □□▱ □
お湯はり中表示	ふろ自動・たし湯・ぬるく・手動配管クリーン運転時に表示します □ ➡ □□ ➡ □□▱ ➡ 消灯 ➡ □

省電力表示
省電力設定時に表示します。

たし湯表示
たし湯運転中に表示します。

ぬるく表示
ぬるく運転中に表示します。

給湯温度表示

優先表示
浴室リモコンが優先のとき表示します。

現在時刻表示
現在時刻を表示します。

予約時刻表示
おふろが沸く時刻を表示します。

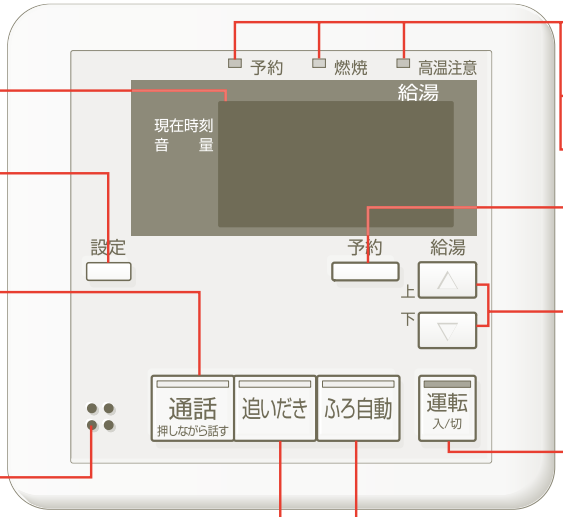
各部の名称とはたらき

■台所リモコン TP-RK806A/RK806A-P(別売品)

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定や、ふろ自動・追いだき・予約運転などの操作ができます。

■増設リモコン SC-660/661(別売品)

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。
給湯温度の設定や、ふろ自動運転の操作ができますが、追いだき・予約運転は操作できません。



表示画面

設定ボタン
現在時刻・音量など各種設定をするときに押します。

通話スイッチ・ランプ[緑](→P.26)
TP-RK806A-PとSC-661にあります。
インターホンリモコン間で通話をすることができます。
TP-RK806AとSC-660にはスイッチがありません。

スピーカー
設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

追いだきスイッチ・ランプ[橙](→P.20)
おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。
増設リモコンにはついていません。

予約ランプ[緑](→P.23)
増設リモコンにはついていません。

燃焼ランプ[赤]

高温注意ランプ[赤](→P.14)

予約スイッチ(→P.23)
時間を指定しておふろを沸かします。
増設リモコンにはついていません。

上下ボタン
給湯温度の調節に使用します。(→P.13)
その他、設定の調節をするときに使用します。

運転スイッチ・ランプ[緑]
操作するとき最初に「入」にします。

ふろ自動スイッチ・ランプ[橙/緑](→P.15)
設定した温度・水位で自動的におふろを沸かします。

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示
現在時刻を表示します。

予約時刻表示
おふろが沸く時刻を表示します。

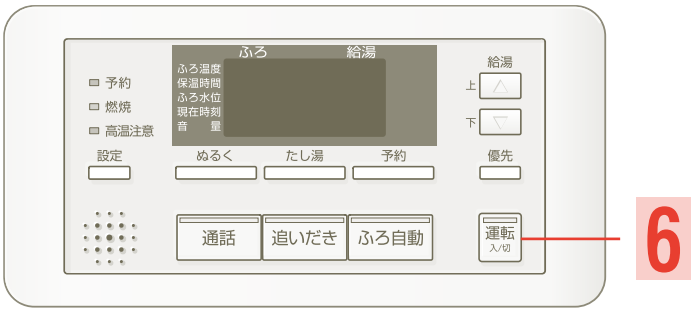
予約表示
予約が「入」のとき表示します。

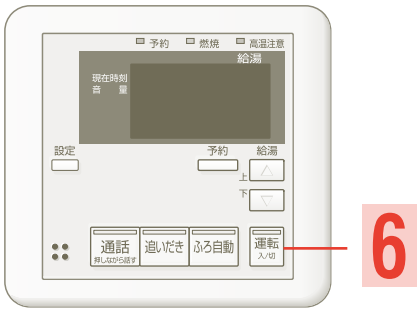
給湯温度表示
給湯温度を℃で表示します。

省電力表示
省電力設定時に表示します。

優先表示
台所リモコンが優先のとき表示します。

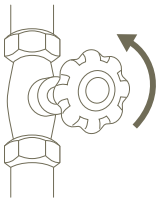
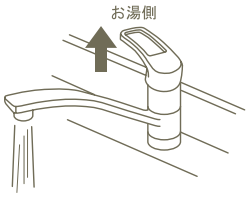
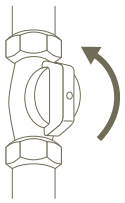
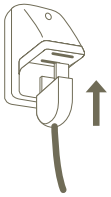
ご利用前の準備



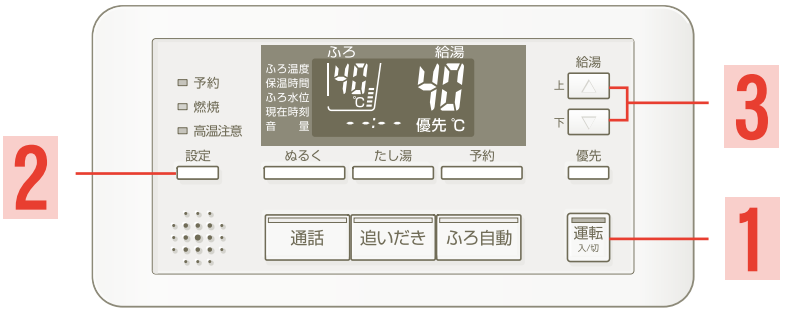


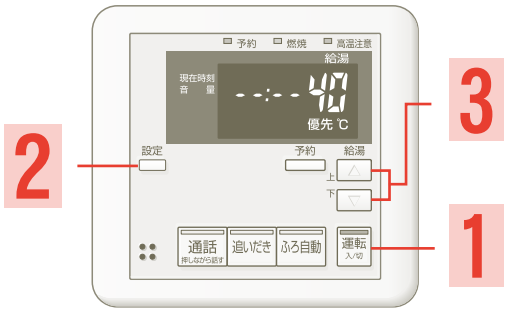
■機器の準備

下記の準備ができたら、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

操　作	説　明
1 機器や機器周辺の点検・確認を行います	**■点検のポイント**(→P.34)をご覧ください。
2 給水元栓を全開にします 	機器の下部にあります。
3 給湯栓を開けます 	水が出ることを確認したら閉じます。
4 ガス栓を全開にします 	機器の下部にあります。
5 電源プラグをコンセントに差し込みます 	機器の周辺にあります。
6 運転 入/切 を押して「入」にします	画面が表示されます。 “現在時刻をセットしてください”

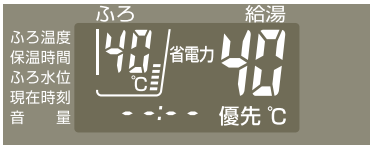
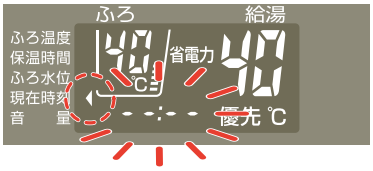
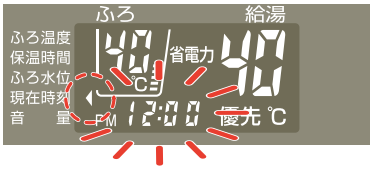
ご利用前の準備





■現在時刻を合わせる

現在時刻合わせは、浴室・台所・増設のいずれかひとつのリモコンで操作します。ここでは浴室リモコンで説明します。

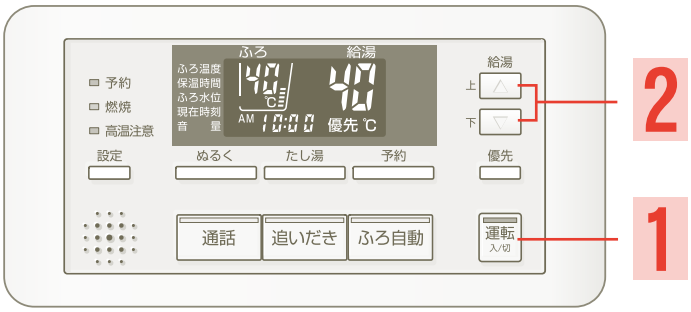
操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 を押して「入」にします		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 設定 を現在時刻の右に◁が表示するまで押します		“現在時刻です　上下ボタンで入力してください”
3 上△または下▽を押して現在時刻を設定します		
現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します。		“現在時刻、セットされました”

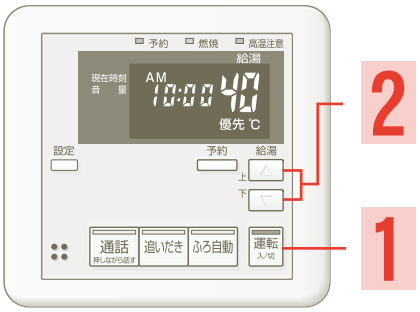
メモ

- 電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコンの画面上に⏳が表示されます。表示が消えるまで、約40秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから**運転**スイッチを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「--：--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、**運転**スイッチを「入」にするたびに**“現在時刻をセットしてください”**と音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には**“熱い温度にセットされました　注意してください”**の音声ガイドも続けて流れます。
- 設定時にはAM（午前）・PM（午後）に注意してください。
- 設定時に上△または下▽を押さないまましばらくたつと確定となります。（音声ガイドは流れません）

お湯を使うには

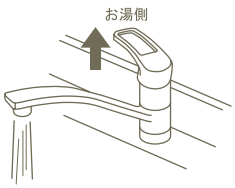
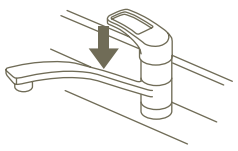
おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。





■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先が表示されているリモコンで操作できます。ここでは、台所リモコンで説明します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 給湯温度を変更する場合は**優先**の点灯を確認して 上 △ または 下 ▽ を押して変更します		温度変更ができない場合は**優先**の点灯を確認します。(→P.14)
3 給湯栓を開けます 		各リモコンでも燃焼ランプが点灯します。
4 給湯栓を閉じます 		燃焼ランプが消灯します。 ※ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

⚠警告 ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

メモ ●ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されますが、ふろ自動運転やたし湯を待機させて給湯温度で出湯する設定もできます。(→P.29)

●給湯使用中でも優先の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。

お湯を使うには

□給湯温度の目安

※５０℃以上に設定した場合には、高温注意ランプが点灯します。

“熱い温度にセットされました 注意してください”

ご使用の目安　（単位:℃）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
低温 食器洗いなど				シャワー・給湯など					給湯など				高 温		

40:工場出荷時

ご注意ください

- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。

⚠警告 ●シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切替・**運転**スイッチを「切」にしない。行うとシャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ防止のためのアラーム番号“011”を表示し、お湯が止まります。その場合は給湯栓を閉じ、リセット操作(→P.38)をしてからご使用ください。

お願い

- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだき中)、たし湯運転中は、給湯温度の設定はできません。(警告音でお知らせします)
- ５５℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため６０℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから変更してください。

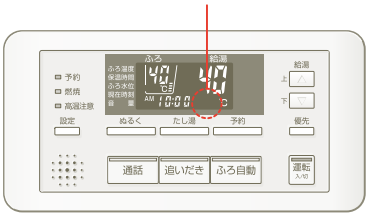
■優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切り替えることを「優先切替」といいます。

給湯温度を調節できない場合 ▶ 優先切替を行う(調整可能) ▶ 給湯温度を調節できる状態

浴室リモコン

優先が表示されていない



いずれかの操作で優先を切替えます

A. **優先**スイッチを押します

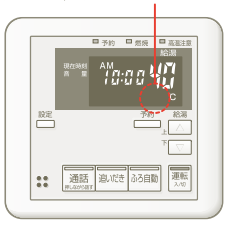
押すごとに浴室リモコン⇔台所リモコンと切り替わり音声ガイドが流れます
浴室優先あり“給湯温度、浴室優先です”
浴室優先なし“給湯温度、台所優先です”

B. 給湯 △ または ▽ を押します

優先表示あり

台所リモコン

優先が表示されていない



運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする

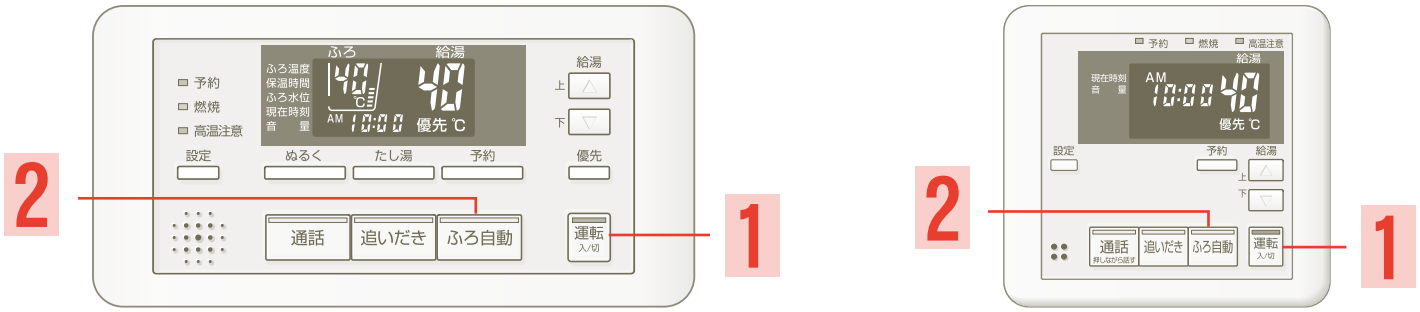
※ふろ自動・追いだき運転などが運転中の場合は、停止します。
停止させたくない場合は浴室リモコンの**優先**スイッチで切り替えてください。

優先表示あり

メモ

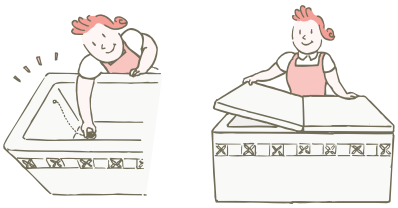
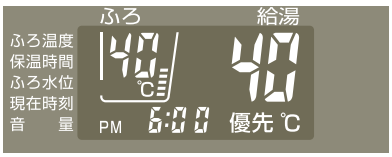
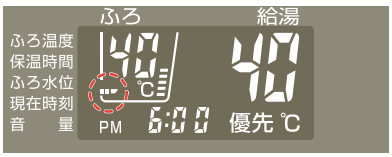
- 優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が６０℃だった場合、自動的に５５℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時に、設定温度が５０℃以上の場合には**“熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。
- 別売の増設リモコンを設置している場合
  - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先になります。
  - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの**運転**スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

自動でおふろを沸かすには スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。



■ふろ自動運転をする

ここでは、浴室リモコンで説明します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
準備 浴槽の排水栓をして、ふたをします		※排水栓をし忘れると、アラーム番号(032または252)が点滅し、運転が停止します。 リセット操作(→P.38)後、再度ふろ自動運転を行ってください。
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 ふろ自動 を押します ふろ自動運転が始まり、お湯張りを開始します 湯張りが終わると沸かし上げます おふろが沸き上がると保温に入ります 保温時間内はふろ温度を保つため、定期的に沸き上げ、たし湯します	 	“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか” ふろ自動[橙]・お湯張り中表示・燃焼ランプが点灯します。 設定水位に近くなると “もうすぐおふろに入れます” ふろ温度に沸き上がると “おふろが沸きました” お湯張り中表示・燃焼ランプが消灯し、ふろ自動[橙]が[緑]に変わります。 保温時間が終了するとふろ自動[緑]が消灯します。

メモ

●浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドは、リモコンの給湯温度が50℃以上の場合に、**“おふろが沸きました”**から**“熱い温度にセットされました　注意してください”**に変わります。

自動でおふろを沸かすには

おふろ沸かしや保温を途中で停止したいときは

ふろ自動運転中に[ふろ自動]を押します。ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

⚠警告

- ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。
- ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

- ●以下の場合は**“もうすぐおふろに入れます”**の音声ガイドが流れません。
  1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
  2. ふろ設定温度に近いか高い湯温の残り湯があって、ふろ自動運転を行ったとき。
- ●自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。**■沸かし直しをするには**(→下記参照)をご覧になり、再度おふろを沸かし直してください。

お願い

- ●浴槽の湯(水)を排水する際は、ふろ自動運転が終了(ふろ自動ランプが消灯)していることを確認してから行ってください。

メモ

- ●ふろ待機設定をしている場合は、給湯を使用している間、ふろ自動運転のお湯張りが止まります。(→P.29)
- ●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼ランプがついたり消えたりすることは異常ではありません。
- ●残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常ではありません。
- ●保温時のおふろ沸かしは、気温等により約15～30分の間隔で行います。
- ●お湯張りを正確に行うため、電源投入後2回目まではお湯張り時間がかかります。

■沸かし直しをするには

■ふろ自動運転をする(→P.15)の1から2と同じ操作で行います。

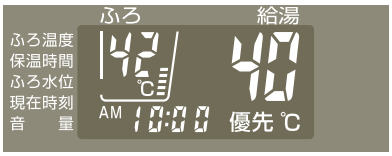
・おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位によりふろ水位と異なる場合があります。

また、**■追いだき運転をする**(→P.20)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

■ふろ温度の設定

浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 ▭ をふろ温度の右に〈 が表示するまで押します		“ふろ温度です　上下ボタンで入力してください” ふろ温度が点滅します。
2 上△または下▽を押してふろ温度を変更します ふろ温度変更後、しばらく押し操作がないと確定します		“ふろ温度、セットされました” ふろ温度が点滅から点灯に変わります。

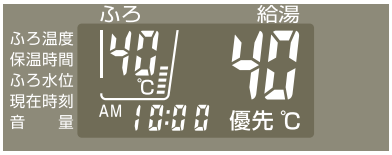
ご使用の目安　（単位：℃）

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
低温				ぬるい			標準			あつい					

40：工場出荷時

■保温時間の設定

浴室リモコンで操作します

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 ▭ を保温時間の右に〈 が表示するまで押します		“保温時間です　上下ボタンで入力してください” 保温時間が点滅します。 ※保温しない場合は、“0”に設定してください。
2 上△または下▽を押して保温時間を変更します 保温時間変更後、しばらく押し操作がないと確定します		“保温時間、セットされました” 保温時間の点滅からふろ温度の点灯に変わります。

保温時間　（単位：時間）

0	1	2	3	4	5	6	7	8

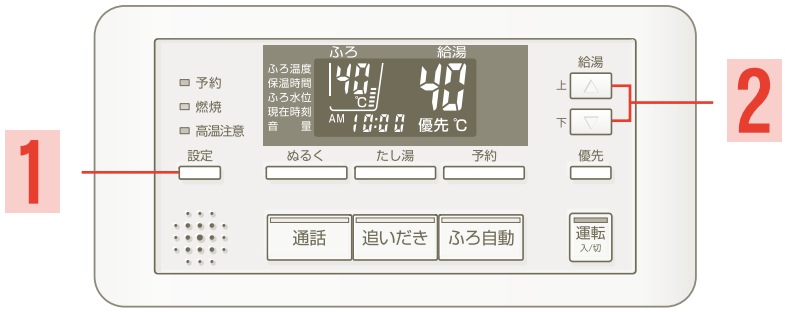
4：工場出荷時

ご注意ください

お願い
- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。
- 浴槽の種類や施工条件、外気温などによって、表示される温度は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。

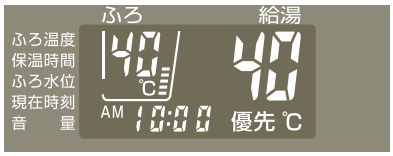
メモ
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転中でもふろ温度・保温時間の設定を変更することができます。
- 設定時に上△または下▽を押さないまましばらくたつと確定となります。（音声ガイドは流れません）

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

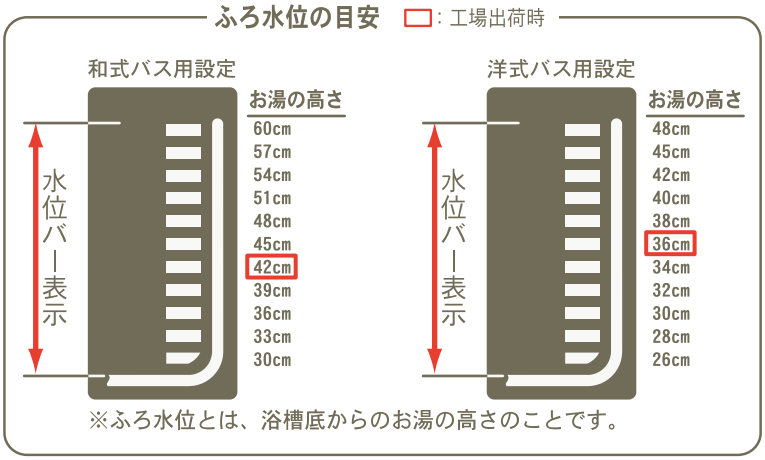


■ふろ水位の設定

浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 をふろ水位の右に が表示するまで押します		“ふろ水位です　上下ボタンで入力してください” 水位バーが点滅します。 ※水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください。
2 上 または 下 を押してふろ水位を変更します ふろ水位変更後、しばらく押し操作がないと確定します		“ふろ水位、セットされました” ふろ水位が点滅から点灯に変わります。

ふろ水位の目安　□：工場出荷時



※ふろ水位とは、浴槽底からのお湯の高さのことです。

お願い

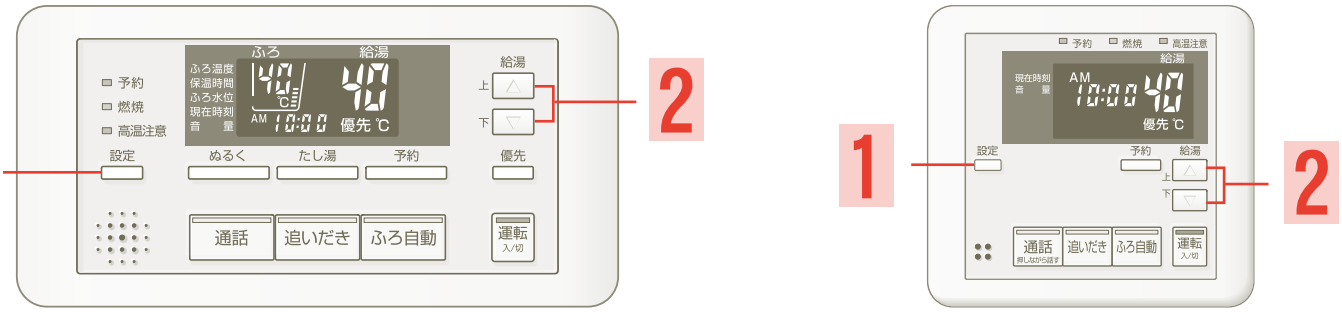
- 浴槽の種類や施工条件によって、表示されるふろ水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、ふろ水位を高めに設定するとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の浴槽の水位を確認してからお好みのふろ水位に調節することをおすすめします。なお、ふろ水位(cm)は、循環口の中心が浴槽下面から15cmにあることを前提に設定されています。
- ふろ水位は、通常和式バス用設定で出荷されています。和式バス用設定と洋式バス用設定を変更する場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

メモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転中でもふろ水位の設定を変更することができます。
- 設定時に上 または下 を押さないまましばらくたつと確定となります。(音声ガイドは流れません)

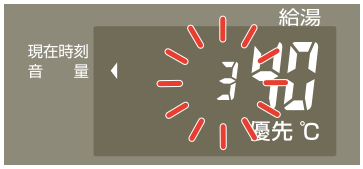
音量を変更するには

浴室・台所・増設リモコンでそれぞれ個別に設定ができます。



■音量の設定

ここでは台所リモコンで説明します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 設定を音量の右に〈が表示するまで押します		“音量です　上下ボタンで入力してください”
		音量が点滅します。 サンプル音が流れますのでお好みの音量に設定してください。
2 上または下を押して音量を変更します		“音量、セットされました”
変更後設定を押す、またはしばらくたつと確定します		音量の点滅から現在時刻表示に変わります。

音量の目安

0（無音）	1（小）	2（中）	3（大）

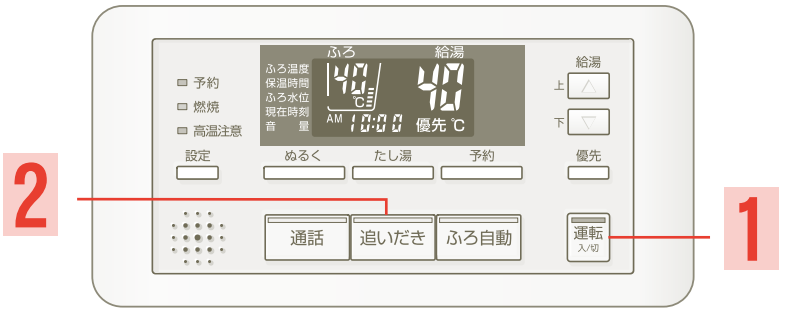
3（大）：工場出荷時

メモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、**通話**スイッチが押されたときのチャイムや通話音声は音量“小”で流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピッピッピッ”の音は調整できません。
- 設定時に上または下を押さないまましばらくたつと確定となります。（音声ガイドは流れません）
- **設定**ボタンを順に押して各設定を続けて変更することもできます。設定が終了すると音声ガイドが、設定した項目についてお知らせします。

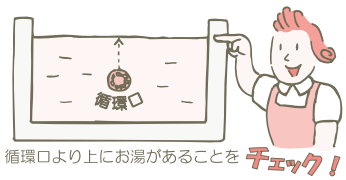
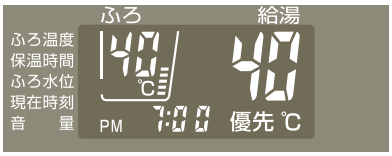
おふろのお湯を熱くするには

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。



■追いだき運転をする

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作できます。ここでは浴室リモコンで説明します。

操　作	操作後の画面	説　明
準備 ⚠注意 浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認します	 循環口より上にお湯があることを チェック！	必ず確認します。 水位が低いと空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 追いだき を押します		“おふろを沸かします” 運転が開始すると、追いだきランプ・浴室リモコンの循環中表示・燃焼ランプが点灯します。 運転が終了すると、追いだきランプ・燃焼ランプが消え、浴室リモコンの循環中表示も消えます。

【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。 (追いだき時の最高温度:50℃) 浴槽の湯の温度がふろ温度より2℃以上低い場合は、ふろ温度まで沸かします。
台所リモコンで操作	ふろ温度まで沸かします。

もっと熱くしたいときには

追いだき運転終了後にもう一度、浴室リモコンの追いだきを押します。
お好みの湯かげんになったら、追いだきを押して停止してください。

追いだき運転中に停止するには

追いだき運転中に追いだきを押します。
追いだきランプ・燃焼ランプと浴室リモコンの循環中表示が消灯して、追いだき運転を停止します。

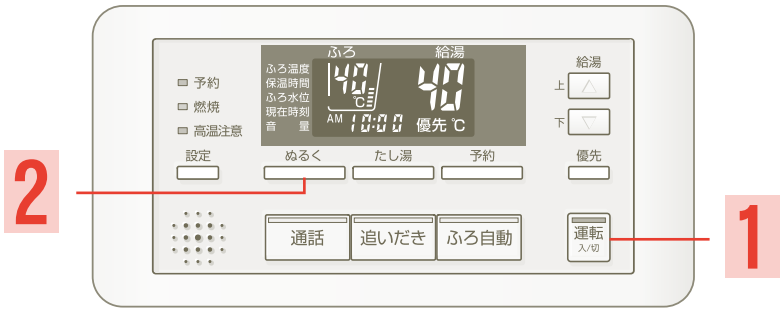
⚠注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。

お願い ●**追いだき**スイッチは長く(5秒以上)押さないでください。**追いだき**スイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。誤って押し続けた場合はもう一度、**追いだき**スイッチを押してください。

メモ ●ドレン水排出中の追いだき運転は、1～2分程度遅れて動作します。

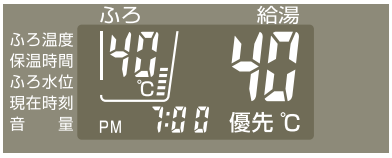
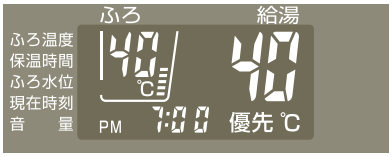
おふろのお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱いときは、ぬるくすることができます。この機能を「ぬるく」といいます。



■ぬるく運転をする

自動的に約１２ℓの水を入れかくはんします。浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 ぬるく を押します		ぬるく・お湯はり中表示が点灯し、ぬるく運転を開始します。 約12ℓの水を入れて、かくはんしてから自動停止します。
		終了すると、メイン画面からぬるく・お湯はり中表示が消えます。

もっとぬるくしたいときには

ぬるく運転終了後にもう一度、ぬるく を押します。
お好みの湯かげんになったら、ぬるく を押して停止してください。

ぬるく運転中に停止するには

ぬるく運転中にぬるく を押します。
ぬるく・お湯はり中表示が消灯してぬるく運転が停止します。

ご注意ください

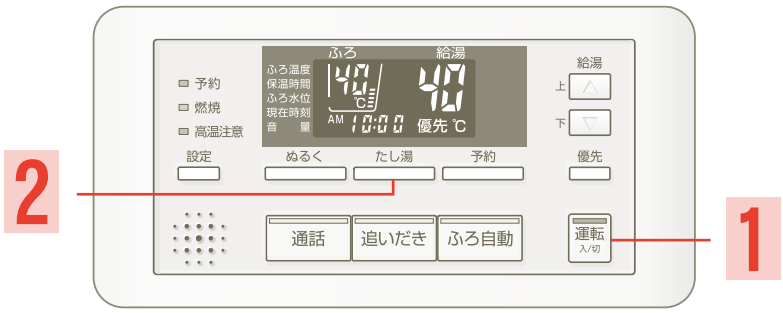
- ぬるく運転中に給湯栓(シャワーを含む)を開けると、ぬるく運転は一時中断します。給湯栓を閉めると、ぬるく運転を再開します。

メモ

- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- ドレン水排出中のぬるく運転は、1～2分程度遅れて動作します。

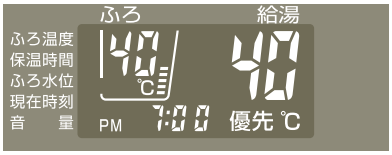
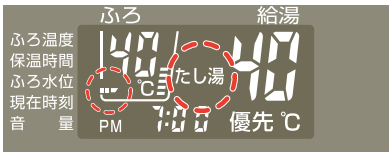
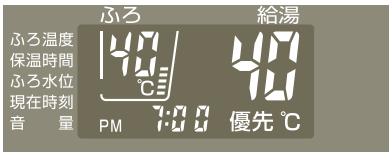
おふろのお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やすことができます。この機能を「たし湯」といいます。



■たし湯運転をする

自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約２４ℓ入れかくはんします。浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 たし湯 を押します		たし湯・お湯はり中表示・燃焼ランプが点灯し、たし湯運転を開始します。 約24ℓのお湯を入れて、かくはんしてから自動停止します。 運転が終了すると燃焼ランプ・お湯はり中表示・たし湯が消えます。
		

もっとお湯を増やしたいときには

たし湯運転終了後にもう一度、たし湯を押します。お好みの湯量になったら、たし湯を押して停止してください。

たし湯運転中に停止するには

たし湯運転中にたし湯を押します。
たし湯・お湯はり中表示・燃焼ランプが消灯して、たし湯運転が停止します。

ご注意ください

- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワー等を使うときはご注意ください。
  また、たし湯を待機させ、給湯・シャワーを給湯温度で出湯させる設定もできます。(→P.29)
- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、たし湯時に燃焼しない場合があります。

メモ

- たし湯スイッチを5秒以上押し続けると、手動配管クリーン運転を始めます。(→P.27) 誤って押し続けた場合はもう一度たし湯スイッチを押してください。
- リモコンの給湯温度が50℃以上の場合は、たし湯終了後チャイムが鳴り**“熱い温度にセットされました　注意してください”**と音声ガイドが流れます。
- ドレン水排出中のたし湯運転は、1～2分程度遅れて動作します。

おふろが沸く時刻を予約するには

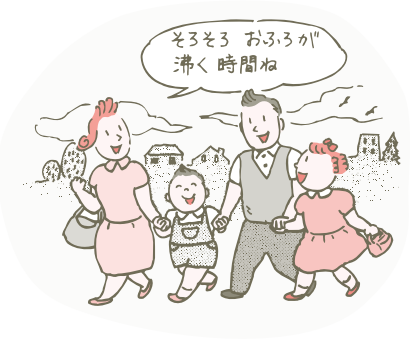
おふろの沸き上がり時間を予約することができます。

予約の設定は予約時刻の６０分前までに設定してください。

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

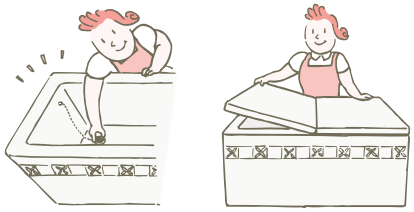
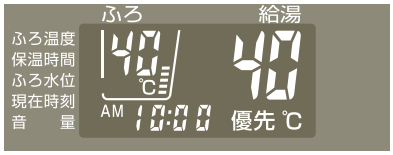
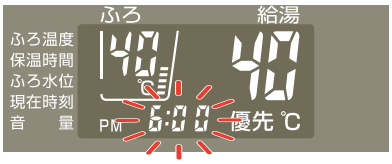
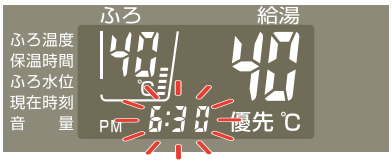
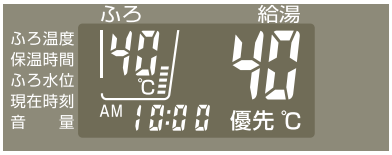
- ●浴槽の排水栓および、ふたがしてあることを確認。
- ●現在時刻が合っているかを確認。(→P.12)
- ●予約時刻を確認。
- ●ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(→P.17 ～ 18)

予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

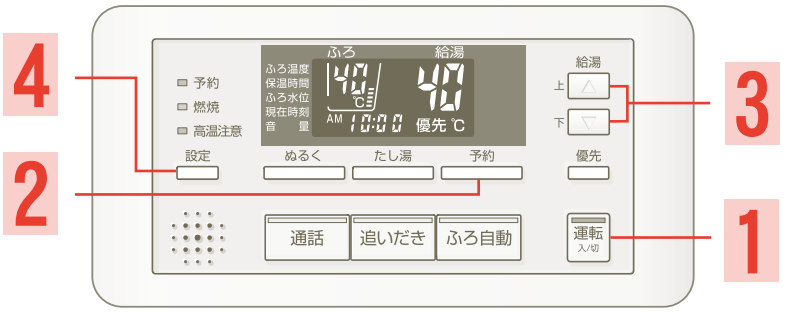


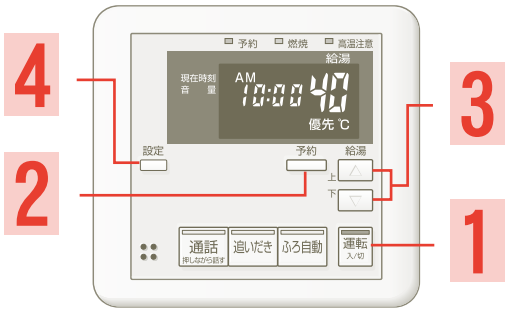
■予約運転をする

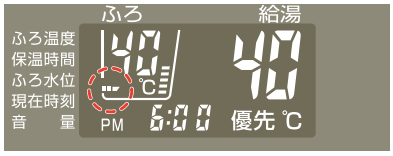
ここでは浴室リモコンで説明します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
準備 浴槽の排水栓をして、ふたをします		※出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
1 運転 入/切 の点灯を確認します		運転ランプが点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 予約 を押します		**“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”** 予約ランプが点灯します 予約時刻が点滅します
3 予約時刻を設定します 上 △ または下 ▽ を押して予約時刻を変更します		予約時刻の変更をしない場合は上 △ または下 ▽ を押さずにしばらくすると、予約の確定となります。
4 設定 を押す、またはしばらく押し操作がないと確定します		**“予約されました　おふろの栓はしましたか”** 予約時刻の点滅から現在時刻表示に変わります。

おふろが沸く時刻を予約するには





操　作	操作後の画面	説　明
5 予約した時刻におふろが沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります		予約ランプが消灯します。 ふろ自動[橙]・お湯張り中表示・燃焼ランプが点灯します。
おふろが沸き上がると保温に入ります		おふろが沸き上がると “おふろが沸きました” お湯張り中表示・燃焼ランプが消灯し、ふろ自動[橙]が[緑]に変わります。

予約運転を解除したいときは

※リモコンの**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます。

予約ランプが点灯している場合→ 予約 を押します。
“**予約、解除されました**”
予約ランプが消えて予約が解除されます。

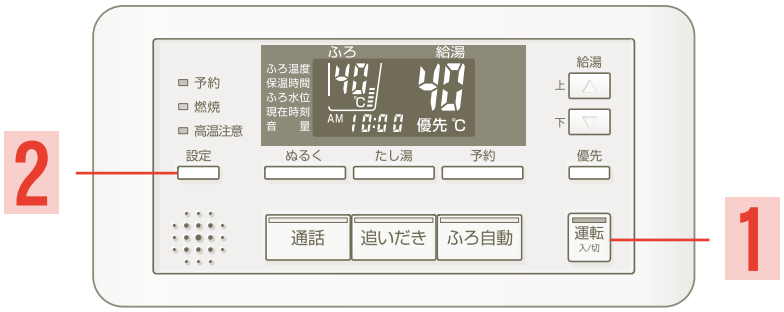
おふろ沸かしが始まっている場合→ ふろ自動 を押します。
ふろ自動ランプが消えて運転が停止します。

メモ

- 変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって遅くなる場合があります。
- リモコンの予約ランプが点灯しているときは、**運転**スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また、予約ランプの点灯中は**運転**スイッチ「入」/「切」に関係なく、**予約**スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まると、予約は解除されます。再通電後、現在時刻を合わせてから再度**予約**スイッチを押してください。
- 時刻表示が「--：--」になっている場合、**予約**スイッチは使用できません。(警告音でお知らせします)

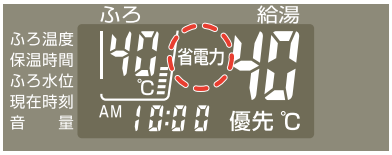
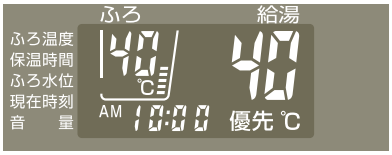
省電力機能について

5分以上何も操作しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



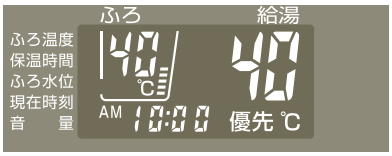
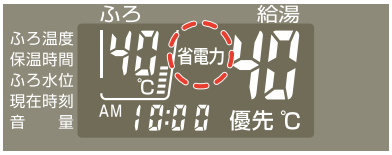
■省電力モードの解除

浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します **省電力**があることを確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。 省電力モード中の場合は、リモコンの画面を表示して確認します。
2 浴室リモコンの 設定 を5秒以上押し続けます		“省電力、解除されました” 各リモコンの**省電力**が消えます。

■省電力モードの設定

浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します **省電力**がないことを確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 浴室リモコンの 設定 を5秒以上押し続けます		“省電力、セットされました” 各リモコンに**省電力**が表示します。 5分以上操作がない場合、画面表示が消えます。

省電力モード中に画面を表示させるには

各スイッチ(呼び出し・通話を除く)およびボタンを押すと表示します。

追いだき　ふろ自動

ご注意ください

左図のスイッチは、押すと画面が表示されると同時に、運転が開始します。

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

・お湯を使用しているとき
・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
・ふろ自動運転中(保温を含む)

お願い
- 省電力モード中で画面が消えているときに給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ふろ自動・追いだき・呼び出し・通話のリモコン操作は、画面が消えている状態でも受け付けます。

メモ
- 省電力モードは**運転**スイッチの「入」/「切」では解除できません。

インターホン機能で通話するには

インターホンリモコンをご利用の場合

入浴中に何か必要なものがあって人を呼びたい、あるいは気分が悪くなった時などに、浴室リモコンの通話スイッチを押すだけで台所リモコンのチャイムを鳴らして知らせ、通話ができます。
また、台所・お部屋から浴室への呼び出し、通話もできます。

■浴室リモコンから台所(増設)リモコンへ呼び出し

呼び出し(浴室)	応答(台所・増設)
通話を押します 通話ランプ点灯 呼び出しチャイムが約5秒間鳴ります。 チャイムが鳴り終わり、通話ランプが点灯したら、点灯中(約30秒間)に、浴室リモコンに向かって話します。 通話ランプの点滅中や消灯時は、通話ができません。	呼び出しチャイムが鳴ります。 通話ランプが点滅して浴室リモコンの声が流れます。 通話ランプ点滅 **[折り返し浴室へ通話したいときは]** 通話ランプの点滅中に、通話(押しながら話す)を押し続けます 通話ランプが点滅から点灯に変わったら押し続けたまま話します

途中で通話を止めるには

浴室リモコンでは、通話ランプ点灯中に通話を押します。
通話ランプが消灯します。

台所(増設)リモコンでは、通話ランプ点滅中に通話(押しながら話す)を押します。
通話ランプが消灯します。

■台所(増設)リモコンから浴室リモコンへ呼び出し

呼び出し(台所・増設)	応答(浴室)
通話(押しながら話す)を押し続けます 通話ランプ点灯 呼び出しチャイムが約5秒間鳴ります。 チャイムが鳴り終わり、通話ランプが点滅から点灯に変わったら、通話(押しながら話す)を押し続けたまま話します。	呼び出しチャイムが鳴ります。 通話ランプが点滅して台所(増設)リモコンの声が流れます。 通話ランプ点滅 **[折り返し台所(各部屋)へ通話したいときは]** 通話ランプの点灯中(約30秒間)に、浴室リモコンに向かって話します

お願い
- 台所(増設)リモコンで通話するときは、**通話**スイッチを押しながらお話しください。

メモ
- 台所(増設)リモコンの通話中(通話を押している間)は浴室リモコンからの声は聞こえません。
- 台所(増設)リモコンの通話終了後30秒たつと、インターホン機能は終了します。(通話ランプの点滅が消灯します)
- **運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- 増設リモコンも台所リモコンと同じ操作で呼び出しと通話ができます。
- 増設リモコン⇔台所リモコン間でも、呼び出しと通話ができます。
- 浴室リモコンは、ハンズフリー(**通話**スイッチを押さない)で通話できます。
- リモコンに近づき過ぎて話すと音声が割れることがあります。リモコンとの距離は30cm前後で話してください。

知っていると便利な機能

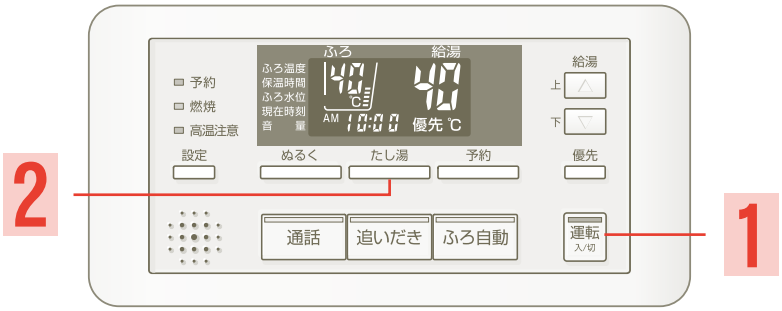
■自動配管クリーンをする

おふろのお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯をきれいなお湯で流し出す機能です。

操　　作	説　　明
条件 1.ふろ自動運転終了後、残り湯が循環口より上にあること 2.排水中に給湯等を使用していないこと	※リモコンの**運転**スイッチ「入」/「切」に関係なく機能します。
1 おふろの栓を抜きます 残り湯の水位が循環口付近になると、自動配管クリーンが始まります	6ℓの湯(水)を1分弱で流し、自動停止します。

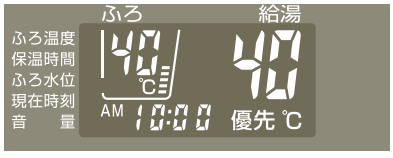
メモ

- ●自動配管クリーンはリモコンの**運転**スイッチ「入」/「切」に関係なく機能します。
- ●リモコンが「入」の時にはふろ温度のお湯で、また「切」の時には水で流し出します。
- ●ふろ自動運転終了後、お湯の汲み出し等で浴槽の水位が循環口より低くなってしまった場合にも、自動配管クリーンの機能がはたらきます。
- ●自動配管クリーンを作動させない設定にすることもできます。(→P.28)



■手動配管クリーンをする

追いだき配管内の残り湯をきれいなお湯で流し出す機能です。
浴室リモコンで操作します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 たし湯 を5秒以上長押しします 手動配管クリーンを開始します		Hとお湯はり中表示を表示します。6ℓのお湯(ふろ温度)を1分弱で流し、自動停止します。 終了すると、画面は現在時刻表示に戻ります。

手動配管クリーン中に停止するには

たし湯 を押します。画面表示が通常に戻り、手動配管クリーンが停止します。

機能の設定を変更する

■自動配管クリーンをしない

自動配管クリーン機能を動作しないようにすることができます。
浴室リモコンで操作します。

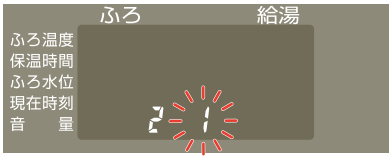
操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の消灯を確認します ぬるく を“ピッ”と鳴るまで(2秒以上)長押しします		運転ランプが点灯しているときは、運転 入/切 を押して「切」にします。 が点滅します。
2 設定 を押します		へ点滅が変わります。
3 上 △ または下 ▽ を押して を選択します		→自動配管クリーンをする →自動配管クリーンをしない
4 ぬるく を押します		“セットされました”

メモ ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

機能の設定を変更する

■ふろ待機設定をする

通常、ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されますが、設定の変更により、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯を待機させ、給湯温度で出湯することもできます。浴室リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の消灯を確認します ぬるく を“ピッ”と鳴るまで(2秒以上)長押しします		運転ランプが点灯しているときは、運転 入/切 を押して「切」にします。
2 上 △ または 下 ▽ を押して 2 を選択します		2 が点滅します。
3 設定 を押します		2 へ点滅が変わります。
4 上 △ または 下 ▽ を押して 1 を選択します ぬるく を押します	 	2 →ふろ自動お湯張り中注湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯の同時使用が可能。 給湯・シャワーはふろ温度で出湯されます。(工場出荷時) 1 →ふろ自動お湯張り中給湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯が停止(待機)します。給湯・シャワーは給湯温度で出湯されます。 “セットされました”

メモ ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

⚠注意
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温−15℃、有風5m/秒程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環(ポンプ運転)して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- 凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

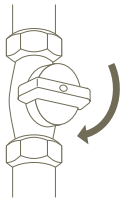
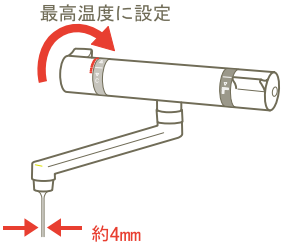
浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- 浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

お願い
- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**スイッチを「入」にしてください。

■給湯栓の水を流す方法(寒波などで特に寒くなりそうなとき)

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操作		説明
1 運転 入/切 を押してリモコンを「切」にします		必ず行います。
2 ガス栓を閉じます		機器の下部にあります。
3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます		流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

メモ
- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、**運転**スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.6)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

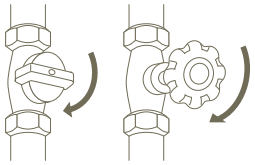
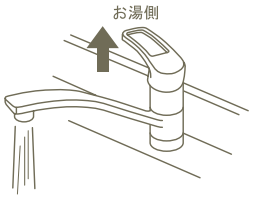
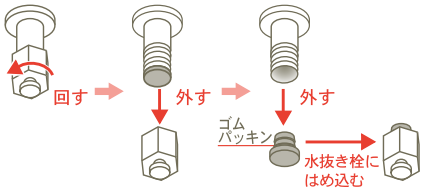
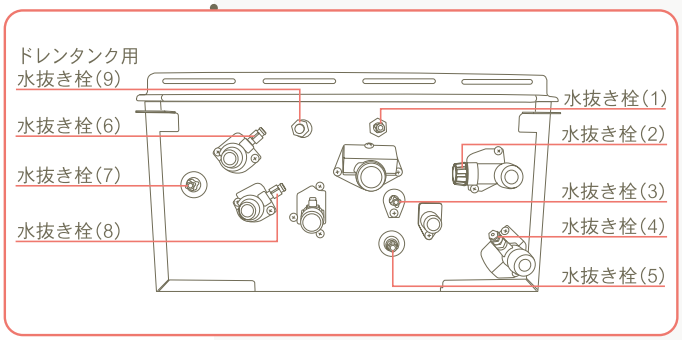
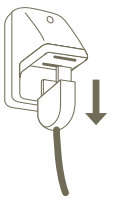
冬期の凍結予防をするには

長期使用しないときは、水抜きをしてください

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

■機器の水を抜く方法

⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

操　作	説　明
1 ガス栓と給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 浴槽の水を排水します 浴室リモコンの[運転 入/切]の点灯を確認し、[追いだき]を5秒間押し続けます	※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。
3 すべての給湯栓を全開にします 	
4 水抜き栓(2)(4)(9)を外します 水抜き栓(1)(3)(5)(6)(7)(8)を水が出るまでゆるめます **水抜き栓(9)の外しかた** 水抜き栓(9)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます  	
5 必ず電源プラグを抜きます 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元通りに取り付けてください。 	機器の周辺にあります。 電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因となります。

⚠注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.35)

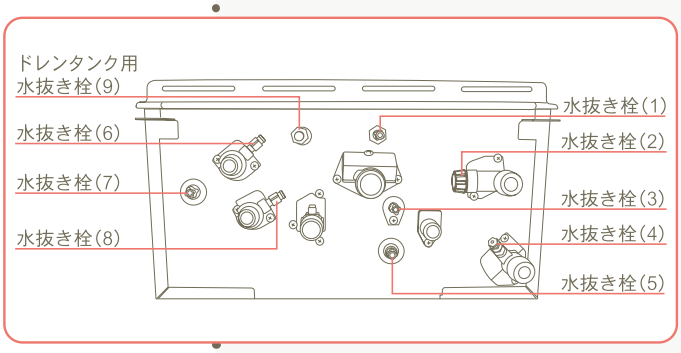
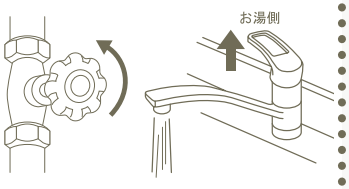
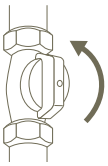
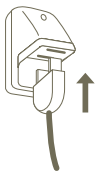
お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

操　　作	説　　明
1 水抜き栓(1)～(9)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します 	
2 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認しますまた、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します。 	給水元栓は機器の下部にあります。 水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。
3 ガス栓を開けます 	ガス栓は機器の下部にあります。 電源プラグは機器の周辺にあります。
4 電源プラグを差し込みます 	機器の周辺にあります。
5 リモコンの現在時刻を設定します(→P.12)	
6 ふろ自動を押し、ふろ自動運転を行います 浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください)	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。

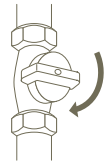
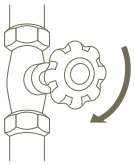
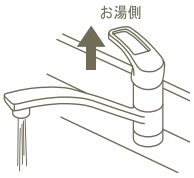
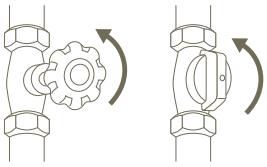
⚠注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.35)

お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操　　作	説　　明
1 ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3 運転 入/切 を押して、リモコンを「切」にします	
4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます 	給水元栓は、機器の下部にあります。
5 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます 	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
6 運転 入/切 を押して、リモコンを「入」にします ふろ自動運転を行い、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認します	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。

⚠注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.35)

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント(月1回程度)

次の7つのポイントで点検してください。

1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？

3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？

4 機器の外観に異常は見られませんか？

5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？

7 積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれていませんか？
給気口・排気口がふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- ●汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- ●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
  変色・変形する場合があります。

■定期点検のおすすめ(有料)

●機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

❗ご注意ください

- ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
  また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- ●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- ●台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い
- ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどではふかないでください。
- ●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

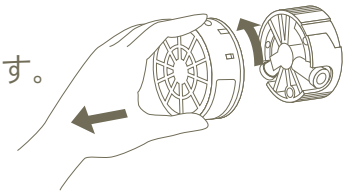
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

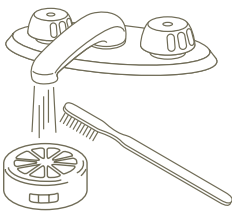
循環口フィルターを
左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

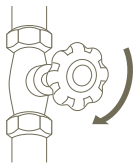
掃除後、循環口フィルター
を元のように取り付けます。



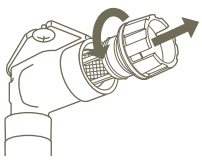
■給水口フィルターの掃除

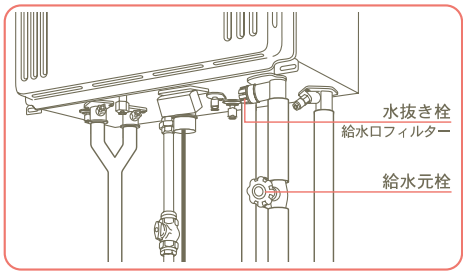
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

1 給水元栓を閉じる

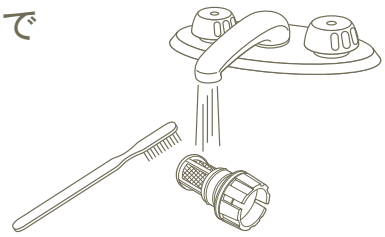


2 水抜き栓を外す

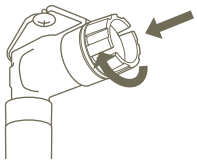




3 歯ブラシなどで
洗う



4 元のように
取り付ける



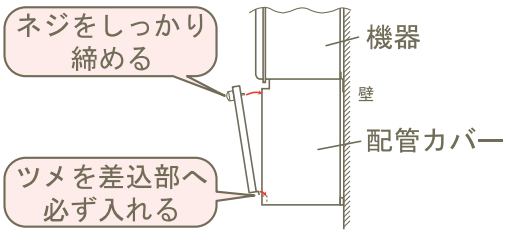
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、**運転**スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
②化粧ネジを確実に締める。



お願い

- ●循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。
  循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- ●給水口フィルターを外すと水が出ます。
  水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- ●再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- ●別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	省電力モード中ではありませんか (→P.25) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.11) 停電していませんか (→P.6)
アラーム番号「032」「252」が点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→P.11) 断水していませんか (→P.5) おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→P.15) 追いだきスイッチを5秒以上長押ししましたか (→P.20)
燃焼ランプが点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→P.11) 給水元栓が全開になっていますか (→P.11) 断水していませんか (→P.5) 給湯栓が十分開いていますか (→P.13) 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.35) 浴槽に水(湯)が入っていますか(追いだき運転時) (→P.20) 循環口フィルターが詰まっていませんか(ふろ使用時) (→P.35)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→P.13) 温度調節は適切ですか (→P.13) シングルレバー式・2ハンドル式・サーモスタット式混合水栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→P.11)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度の設定は適切ですか (→P.17) 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.35)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか (→P.18) 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.35)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな？と思ったら

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。 すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふろ自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。 お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「ふろ自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
ポンプがときどき自動的に回り、ふろ場でモーター音や水の排出音がする	浴室内にドレン水を排出する機能が動作しているためで、故障ではありません。 ・熱効率が高いためドレン水が出ます。(1日に1回程度出ますが、季節や使用条件によって排出回数や排出時刻は変わることがあります) ・ドレン水排出中の「追いだき」・「たし湯」・「ぬるく」運転は、1～2分程度遅れて動作します。
お湯を使用していないのに燃焼ランプが点灯する	ドレン水排出後にお湯で配管の洗浄を行う場合は、給湯・シャワーの未使用時でも1～2分程度燃焼ランプが点灯します。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた等、通電が止まった後の再通電時は時刻表示が「--:--」になります。時刻の再設定をしてください。(→P.12)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

故障かな？と思ったら

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、運転ランプの点滅とアラーム番号でお知らせします。
アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

アラーム番号	内容	処置方法	使用状態
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	――
032	注湯時間異常	浴槽の排水栓を確認後リセット	ふろ自動・追いだき
032	凍結予防水抜き異常	浴槽の排水を確認後リセット	凍結予防水抜き時
101	給湯自己診断警告	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯
102	ふろ自己診断警告		ふろ自動・追いだき
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット	給湯・ふろ自動・たし湯
112	ふろ側点火不良		ふろ自動・追いだき
121	給湯側失火		給湯・ふろ自動・たし湯
122	ふろ側失火		ふろ自動・追いだき
140	空だき安全装置作動	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
	元ガス電磁弁回路異常		
252	ふろ水流スイッチ異常	浴槽の排水栓を確認後リセット	ふろ自動・追いだき
290	ドレンポンプ異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
291	中和器詰まり		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
300	外気温サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
302	ふろサーミスタ誤配線		給湯・ふろ自動・たし湯
311	出湯温サーミスタ断線		ふろ自動・追いだき
312	ふろ入サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
321	入水温サーミスタ断線・短絡		ふろ自動・追いだき
322	ふろ出サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
331	混合温サーミスタ断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
391	給湯側自己診断フレームロッド断線・短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
392	ふろ側自己診断フレームロッド断線・短絡		ふろ自動・追いだき
422	注湯量センサ異常		給湯・ぬるく・たし湯
432	水位センサ異常		ふろ自動
440	ドレンタンク水位検出異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
501	ドレン排出異常		ドレン排水洗浄

アラーム番号	内容	処置方法	使用状態
510	元ガス電磁弁異常	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
511	給湯ガス電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
512	追いだきガス電磁弁異常		給湯・ふろ自動・追いだき
542	切替弁異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯
562	注湯電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯
572	三方弁リミット異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・ぬるく
582	D三方弁ユニットリミット異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・ぬるく
610	ファン回転故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
661	バイパス水制御弁異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯
700	電装基板異常		――
	ガス比例弁駆動回路異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
710	元ガス電磁弁駆動回路異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき
711	給湯ガス電磁弁回路不良		給湯・ふろ自動・たし湯
712	ふろガス電磁弁回路不良		ふろ自動・追いだき
721	給湯側プリ・ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯
722	ふろ側プリ・ポスト異常		ふろ自動・追いだき
740	台所リモコン通信異常		――
750	浴室・増設リモコン通信異常		――
760	電力測定ユニット通信異常		――
762	D三方弁ユニット通信異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・ぬるく
901	給湯給気汚染異常		給湯・ふろ自動・たし湯
902	ふろ給気汚染異常		ふろ自動・追いだき
912	D三方弁ユニット取り付け異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・ぬるく
921	中和器異常		給湯・ふろ自動・たし湯
931	中和器寿命		給湯・ふろ自動・たし湯
991	給湯自己診断燃焼異常		給湯・ふろ自動・たし湯
992	ふろ自己診断燃焼異常		ふろ自動・追いだき

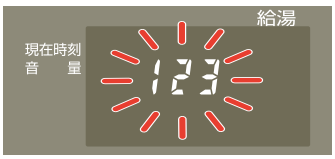
リセット操作　**運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。**

〔浴室リモコン〕

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。

〔台所/増設リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



ご注意ください

- アラーム番号“921”・“931”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。
  アラーム番号“921”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。
  アラーム番号“931”では機器の使用はできません。

メモ

- アラーム番号“101”・“102”が表示されたときは、燃焼状態を自己診断し、良好な燃焼を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“101”・“102”の警告表示が点滅しているときの使用はできますが、機器の燃焼が悪化している状態で使用し続けると最終的に安全装置がはたらいて“991”のアラームとなり機器の使用ができなくなりますので、アラーム番号“101”・“102”が点滅したときは、修理を依頼してください。
- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、アラームが解除される場合があります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●「故障かな？と思ったら」(→P.36～38)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
(2)品名(例) TP-T824RFW-RA
　機器コード：11-033-25-08170
(3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
(4)訪問ご希望日

万一のときでも安心です!

東京ガスグループは万全なメンテナンスサービスをご提供します

受付対応

◆月～土曜日の修理は9：00～19：00まで電話受付
月～土曜日は朝の9時から夜の7時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

◆日曜・祝日の修理は9：00～17：00まで電話受付
日曜・祝日は朝の9時から夕方5時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

出張対応

◆月～土曜日の17：00までの受付は、当日中にご訪問

◆月～土曜日の17：00以降の受付は、翌日にご訪問
翌々日以降の希望日にご訪問することも可能です。
なお、緊急時の場合は、ご相談ください。

◆日曜・祝日の15：00までの受付は、当日中にご訪問

◆日曜・祝日の15：00以降の受付は、翌日にご訪問

万一、ガス機器に故障が生じた場合等、修理に関すること何でも、別紙「お問い合わせ先一覧表」をご覧になり、ご用命ください。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

保証について

●この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

●必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。最寄りの東京ガス、お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。

●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。

●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。

(1) ガス栓を閉じます。
(2) 給水元栓を閉じます。
(3) 機器の水抜きを行います。(→P.31)
(4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目			内容			
品名			TP-T824RFW-RA	TP-T824RFT-RA	TP-T816RFW-RA	TP-T816RFT-RA
型式名			GX-SD2400ZW	GX-SD2400ZT	GX-SD1600ZW	GX-SD1600ZT
外形寸法(mm)/質量(kg)			幅470×奥行250×高さ600/34			
種類	給湯方式		先止め式			
	設置方式		PS設置形 標準設置	PS扉内設置形 前方排気延長	PS設置形 標準設置	PS扉内設置形 前方排気延長
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
水圧	使用水圧		100 ～ 800kPa(1.0 ～ 8.0kgf/cm^2)			
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm^2)			
接続	ガス		20A(R3/4)オネジ		15A(R1/2)オネジ	
	給水・給湯		20A(R3/4)オネジ		15A(R1/2)オネジ	
	追いだき往・戻		15A(G1/2)オネジ			
	オーバーフロー口		15A(R1/2)オネジ			
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)			
	リモコン側		24V以下			
	消費電力	待機時	3.8W(浴室・台所リモコン取付時)			
		同時使用	150W/170W	160W/180W	135W/155W	145W/165W
		凍結予防	電気ヒータ　給湯側154W　追いだき側12W 同時237W/257W　ポンプ運転85/110W			
	電源コード/リモコンコード		VCT(2心)機外長2.0m/FMY02-○○(2心)			
安全装置			ファン回転検出装置(燃焼ファン) 立消え安全装置(フレームロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ)		過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ、ポンプ運転) 過電流安全装置(電流ヒューズ)	

〔能力表〕TP-T824RFW-RA，TP-T824RFT-RA

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		ガス接続
		給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	
都市ガス	13A	55.8	44.2	11.6	24.0	15.0	20A(R3/4)
	12A	52.0	41.2	10.8	22.4	14.0	

〔能力表〕TP-T816RFW-RA，TP-T816RFT-RA

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		ガス接続
		給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	
都市ガス	13A	41.8	30.2	11.6	16.0	10.0	15A(R1/2)
	12A	38.9	28.1	10.8	14.9	9.3	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/c㎡}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

Remote controller

■Bathroom Remote Controller　TP-RB806A/RB-806A-P

All of the operations for supplying hot water and heating the bathwater are performed using the bathroom remote controller.
By purchasing the optional kitchen remote controller, some operations can also be performed from the kitchen.

Lukewarm button(→P.21)
Press this button to add some cold water to the bath if you feel to hot.

Set button
Press this button to change the settings for bathwater temperature, heating time, bathwater level, current time, and sound volume.
Also, press and hold this button to activate the power-saving mode.(→P.25)

Timer setting lamp[Green](→P.23)

Burning lamp[Red]

High temperature attention lamp[Red](→P.14)

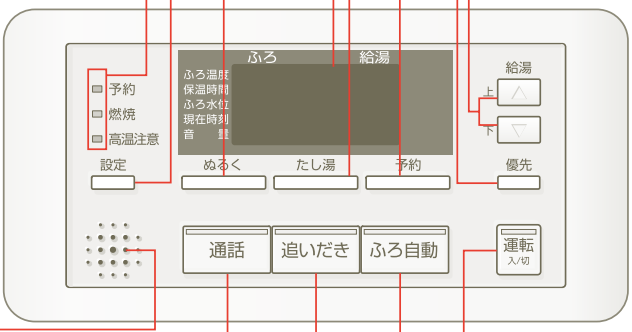
Indication screen

Fill button(→P.22)
Press this button to add some hot water to the bath.

Timer setting button(→P.23)
Press this button if you want the bath to be prepared automatically at the desired time.

Priority button(→P.14)
Press this button to change the priority of the kitchen remote control.

Up/Down button
Press this button to adjust the hot water temperature.(→P.13)
Press this buttons to adjust the bathwater temperature, heating insulation time, bathwater level, current time, sound volume, and timer setting.



Speaker
Setting conditions and cautions are issued from the speaker by a warning sound or voice recording.

Intercom button / Lamp[Green](→P.26)
This button is equipped with the TP-RB806A-P.
It is possible to communicate between the bathroom remote controller and the kitchen remote controller/the additional remote controller while pressing this button.

Call button / Lamp[Green] 呼び出し
For TP-RB806A,this button turn into call button from intercom button.
Press this button for a chime and voice recording to be issued from the kitchen remote controller.

On/Off button[Green]
Press this button to start operation.

Automatic bath button[Orange/Green](→P.15)
Press this button to prepare a bath automatically in accordance with the set temperature and water level.

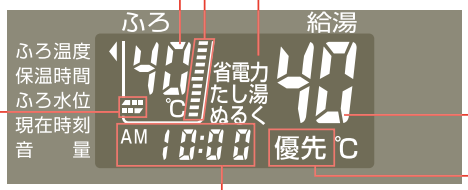
Re-heating button[Orange](→P.20)
Press this button if the bathwater is re-heating and raise the bathwater temperature

□Indication screen

Bathwater level(→P.18)

Bathwater temperature(→P.17)
It displays the temperature of the bathwater by ℃.

Heating time(→P.17)
It displays the heatinng time during the automatic bath operation.



During circulation	It displays in the patterns show below during re-heating. □ ➡ □□ ➡ □□□ ➡ OFF ➡ □
During filling hot water	It displays in the patterns show below during automatic bath operation, addinng some hot water to the bath, addinng some cold water to tha bath and re-heating pipe cleaning □ ➡ □□ ➡ □□□ ➡ OFF ➡ □

Power-saving(省電力)
It indicates that the operation under the power-saving mode.

Fill(たし湯)
It indicates that the operation under the adding some hot water to the bath.

Lukewarm(ぬるく)
It indicates that the operation under the adding some cold water to the bath.

Hot water temperature(→P.13)
It displays the temperature of supplying hot water by ℃.

Priority(→P.14)

Current time(→P.12)

Automatic bath time(→P.23)
It displays the time to finish preparing bath.

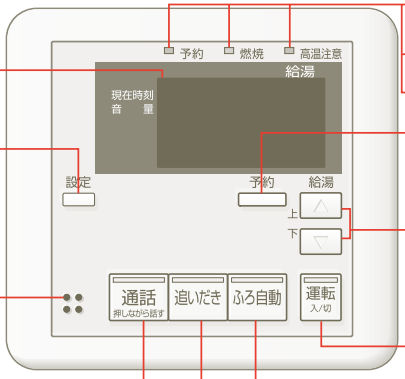
Remote controller

■Kitchen Remote Controller　TP-RK806A/RK806A-P

Operations such as setting the temperature of supplying hot water, automatic bath driving, re-heating, and the timer by the kitchen remote control.

■Additional Remote Controller　SC-660/SC-661

Install it in the room except a bathroom and the kitchen and use it.
Operations of setting the temperature of hot water, the automatic bath driving is possible and does it, but cannot operate re-heating, and the timer by the Additional remote controller.



Indication screen

Set button
Press this button to change the settings for current time, sound volume and radiant heating operation sound is made quiet.

Speaker
Setting conditions and cautions are noticed from the speaker by a warning sound or voice recording.

Intercom button / Lamp[Green] (→P.26)
This button is equipped with the TP-RK806A-P and SC-661.
It is possible to communicate between the bathroom remote controller and the kitchen remote controller/the additional remote controller while pressing this button.
TP-RK806A and SC-660 does not have this button.

Timer setting lamp[Green] (→P.23)
Additional remote controller doesn't have this lamp.

Burning lamp[Red]

high temperature attention lamp[Red] (→P.14)

Timer setting button (→P.23)
Press this button if you want the bath to be prepared automatically at the desired time.
Additional remote controller dose not have this button.

Up/Down buttons
Press this button to adjust the hot water temperature. (→P.13)
Press this button to adjust current time, sound volume, and timer setting.

On/Off button[Green]
Press this button to start operation.

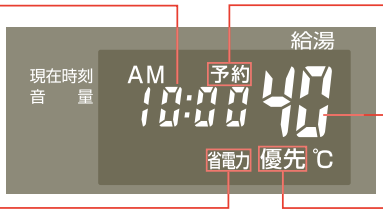
Automatic bath button[Orange/Green] (→P.15)
Press this button to prepare a bath automatically in accordance with the set temperature and water level.

Re-heating button[Orange] (→P.20)
Press this button if the water is re-heating and raise the bathwater temperature.
Additional remote controller dose not have this button.

□Indication screen

Current time (→P.12)

Automatic bath time (→P.23)
It displays the time to finish preparing bath.



Timer (→P.23)
It indicates the timer setting.

Hot water temperature (→P.13)
It displays the temperature of supplying hot water by ℃.

Power-saving (→P.25)
It indicates that the operation under the power-saving mode.

Priority (→P.14)

Temperature of supplying hot water (℃)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
Cold	⇔														Hot

40:Default

Temperature of hot water of bath (℃)

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
Cold	⇔														Hot

40:Default

Heating time (hour)

0	1	2	3	4	5	6	7	8

4:Default

メモ

メモ

保 証 書

ガスふろ給湯器

品　名　TP-T824RFW-RA　TP-T824RFT-RA　TP-T816RFW-RA　TP-T816RFT-RA

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体（リモコンを含む）を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   熱交換器……3年
   電装基板・リモコン（電装基板に起因する故障のみ）……3年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いしたときに、保証書をご提示ください。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3) 機器を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
   (4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   (10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   (12) 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   (13) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

保証履行者　：　東京ガス株式会社　〒105-8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　：　髙木産業株式会社　〒417-8505　静岡県富士市西柏原新田201

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	年　月　日

販　売　店		扱者印	
住　　所			
電 話 番 号			

■修理記録

この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバー裏に記録します。

■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになるときに、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者･保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。